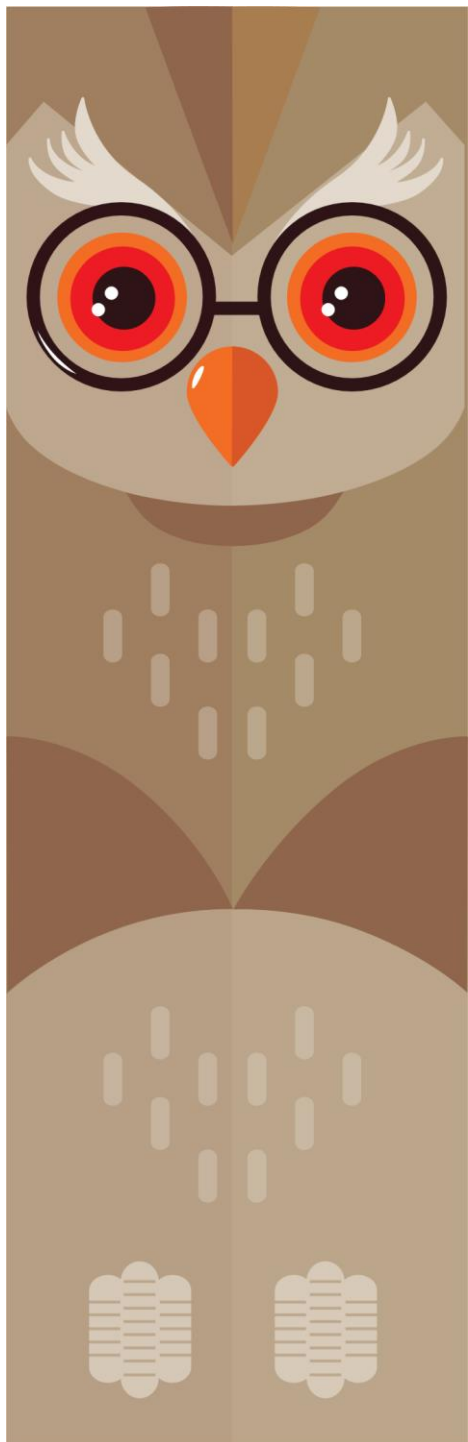


元気づくり支援金活用事業

令和6年1月

事業名	内容	期日	場所	詳細	問い合わせ先
地域産木材等を利用した図書館什器類製作事業	ワークショップ 「わたしの図書館をつくる」第2回	1/10(水) 15:30~17:30	松川町図書館	松川町図書館では、普段使っている図書館の棚を、自分の手で設置するワークショップを開催します。講師の方から町内で生産された木材のお話を聞いた後、旧松川東小学校に設置されているショップポットで切り出した地元産木材で、図書館の文庫棚を皆さんと一緒に設置します。	松川町図書館 矢沢 0265-36-3746
高齢や障害(個人的な生きづらさ)を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業	ユニバーサルツーリズム 南信州シンポジウム	1/12(金) 13:15~15:50	飯田市勤労者福祉センター3階第3会議室(飯田市東栄町3108-1)	「誰もが安心して楽しめる南信州」を目指すうえで、観光はもちろん福祉・介護・教育・協働などの視点から「南信州らしいユニバーサルツーリズム」について考えるシンポジウムを開催します。参加無料、要事前申込み、先着60名。	南信州おでかけ チーム“ウイズ”事務局 村松 0265-49-3171
「知るや?井月さん」南信州プロジェクトー漂泊俳人井月の下伊那巡りー	句碑建立記念歌謡ショー	1/21(日) 12:30~	高森役場隣福祉センター2階	1部句碑建立除幕、披露映像上演、藤和也、島育子歌謡ショー 2部小沢あきこショー	高森文化ユニット 井月顕彰会下伊那支部 唐木 090-2566-7053
地域産木材等を利用した図書館什器類製作事業	ワークショップ 「わたしの図書館をつくる」第3回	1/27(土) 13:00~15:00	旧松川東小学校	松川町図書館では、普段使っている図書館カウンターを自分の手で張替するワークショップを開催します。今回は、講師から旧松川東小学校に設置されているショップポットの説明を受けた後、実際に木材の切り出しを見学します。その後、その木材を研磨していただきます。	松川町図書館 矢沢 0265-36-3747
地域産木材等を利用した図書館什器類製作事業	ワークショップ 「わたしの図書館をつくる」第4回	1/31(水) 15:30~17:30	松川町図書館	松川町図書館では、普段使っている図書館の棚を、自分の手で設置するワークショップを開催します。講師の方から町内で生産された木材やシールドルなどつくったときに出的リンゴの搾りかすを利用した板のお話を聞いた後、旧松川東小学校に設置されているショップポットで切り出した地元産木材で、図書館の新刊棚を皆さんと一緒に設置します。	松川町図書館 矢沢 0265-36-3748



松川町図書館ワークショップ

『わたしの図書館をつくる』

第2回 令和6年1月10日(水) 15:30~

場所 松川町図書館

第3回 令和6年1月27日(土) 13:00~

場所 旧松川東小学校

第4回 令和6年1月31日(水) 15:30~

場所 松川町図書館

『わたしの図書館をつくる』 ワークショップ講師：IKUTO.Lab 田中大也氏

松川町図書館では、旧松川東小学校に設置されている、木材を複雑な形状にも切り出すことができる“ショップボット”を活用し、館内の書架などを作ります。使う木材などは、できるだけ町内産のものを使用します。

ワークショップでは、本棚などの組立やショップボットの使い方などを実践交え学びます。

第2回 『文庫棚・机の組立、設置』

内 容 図書館北側の文庫棚を新しく作ります

日 時 令和6年1月10日（水） 午後3時30分～（約2時間）

場 所 松川町図書館

持ち物 軍手、汚れていい服装

第3回 『カウンターの飾り板切り出し』

内 容 図書館のカウンターの前面に張る板をショップボットで切るところを見学しながらショップボットの利用について説明を聞きます。
その後、切り出した板を研磨します。

日 時 令和6年1月27日（土） 午後1時00分～（約2時間）

場 所 旧松川東小学校

持ち物 軍手、汚れていい服装、暖かい服装

第4回 『新刊棚の組立、設置』

内 容 町内特産のシードルなど作ったあとにリンゴの搾りかすが出ます。

この搾りかすでできた板を使った新刊を紹介する本棚を組立・設置します。

日 時 令和6年1月31日（水） 午後3時30分～（約2時間）

場 所 松川町図書館

持ち物 軍手、汚れていい服装

申し込み 松川町図書館（電話 0265-36-3746）へご連絡ください。

当日の飛び入り参加もOKです。





参加
無料

—先着60名—

ユニバーサルツーリズム 南信州シンポジウム

～誰もが安心して楽しめる南信州を私たちはどう描くか～

少子高齢化が進む我が国にあって、人口に占める高齢者や障がい者の割合が3割を超え、また2025年には団塊世代が75歳以上を迎える時代を控え、「旅行に行きたい」「あのお店に行きたい」「あの人に会いたい」などの思いが「旅行先の環境が整っていない、バリアが気になる」「家族や周囲の人に迷惑を掛けてしまう」「旅行先の情報が不足していて不安だ」などの現状や当事者や家族の「心のバリア」を要因として、実現を妨げているケースが多く見受けられます。

南信州地域では、「誰もが安心して楽しめる地域」を目指すうえで、観光はもちろん、福祉・介護・教育・協働などの視点からも、「南信州らしいユニバーサルツーリズム」について考えたいと思います。

PROGRAM

13:15 開会・挨拶

13:20 「信州ユニバーサルツーリズム」について（長野県観光部観光誘客課）

第一部〈13:30～14:25〉

講演 「誰もが安心して楽しめる地域とは…」

講師：寺田ユースケ氏（車いすYouTuber）

中村 正善氏（株式会社JINRIKI代表取締役社長）
（NPO法人要配慮者避難研究所理事長）

事例紹介 「南信州のユニバーサルツーリズムの現状」

紹介：中山 陽平氏（有限会社わくわく代表取締役）
（南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表）

松村みな子氏（飯田市在住 87歳 車いすユーザー）

第二部〈14:35～15:50〉

パネルディスカッション 「南信州版ユニバーサルツーリズムの可能性～誰もが安心して楽しめる地域へ」

パネリスト：金井 伸樹氏（長野県観光部長）
佐藤 健氏（飯田市市長）
寺田ユースケ氏（車いすYouTuber）
殿倉由起子氏（株式会社太陽農場代表）（野菜ソムリエプロ）
白澤 裕次氏（株式会社阿智昼神観光局代表取締役）
（株式会社南信州観光公社取締役）
（南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表）

アドバイザー：中村 正善氏（株式会社JINRIKI代表取締役社長）
（NPO法人要配慮者避難研究所理事長）

ファシリテーター：中山 陽平氏（有限会社わくわく代表取締役）
（南信州おでかけチーム“ウイズ”副代表）

15:50 閉会

開催日

令和6年

1/12 金

時間 13:15～15:50

会場 飯田市勤労者福祉センター 3階
第3研修室 飯田市東栄町3108番地1



MAP



ユニバーサルツーリズムとは

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して旅行や外出を楽しめること。

インフォーマルサービスとは

介護保険制度や各支援制度によらないサービス。（買い物や外出付添い、生活上で困っている事・家事のお手伝いなど）

寺田ユースケ氏 プロフィール 長野市在住

YouTubeチャンネル「寺田家TV」
（登録者約10万人）を運営

先天性の脳性マヒで首から下にマヒがあり車椅子で生活している。関西学院大学卒業後、お笑い芸人・ホスト・車椅子ヒッチハイクで47都道府県を旅した後にYouTuberになり登録者数10万人を突破。現在は日本全国を旅した経験を元にユニバーサルツーリズムの旅動画のディレクターとして観光動画の制作に力を入れている。著書 車イスホスト(双葉社)。一児の父でもある。



中村 正善氏 プロフィール 箕輪町在住

株式会社JINRIKI代表取締役社長
NPO法人要配慮者避難研究所理事長

世界初のけん引式車いす補助装置「JINRIKI」の開発者。JINRIKIは車いすの行動範囲を広げ、観光分野に限らず、福祉や介護の場で効力を発揮している。2022年には、戦時下にあるウクライナの避難困難者支援のため2度渡航している。



お問い合わせ

阿智☆昼神観光局 TEL.0265-49-3171 担当:村松
E-mail:muramatsu@hirugamionsen.jp

長野県 地域発元気づくり支援金活用事業

主催：南信州観光公社／阿智☆昼神観光局／南信州おでかけチーム“ウイズ”（有限会社かふね・有限会社わくわく・NPO法人生活応援ネットスキップ）
後援：長野県／飯田市／阿智村

FAX でのお申込みはこの申込用紙に必要事項をご記入の上、お申込みください。

送付先 FAX.0265-49-3170 (村松宛)

WEB でのお申込みは右記のQRコードからお申込みください。 WEB お申込みフォーム▶



お申込み期限: **12月31日(日)まで** **参加無料** (先着60名)

市町村名 会社名・団体名
電話番号
FAX番号
Eメール

出席者

所属	
お名前	
所属	
お名前	
所属	
お名前	
所属	
お名前	

お問い合わせ ● 阿智☆昼神観光局 TEL.0265-49-3171 担当:村松 E-mail:muramatsu@hirugamionsen.jp

南信州新聞に掲載された活動

阿智☆昼神観光局

紅葉の絶景に感動の声

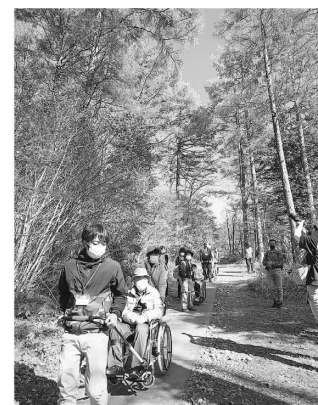
ヘブンス車いすツアー初開催

阿智☆昼神観光局の阿智☆昼神観光局(以下、同局)は、同村のヘブンスそのほらで、車いすユーザーを対象にしたユニバーサルイベント「車いすで行く!ヘブンスそのほら」を開催し、紅葉と森林セラピーロードwithプレミアムサポートを初めて開いた。9組14人が参加。介助を受けながら紅葉の絶景を楽しみ、森林の癒やしを体感した。同局と、飯田下伊那地域でユニバーサルツーリズムを推進する「南信州」の声を上げていた。

州おでかけチーム「ウィズ」が主催。同局が展開する要支援・要介護者向けの介助付き旅行サービス「昼神☆レミ」を「ヘブンスそのほら」に初めて旅行商品として募集した。

ヘブンスそのほらは車いす利用者も楽しめるよう整備されているのが特長で、参加者は車いすに乗ったままロープウェイに乗車。山々の紅葉や南アルプスを眺め、きれいだねと喜びの声を上げていた。

飯田市滝の沢



サポートを受けながら遊歩道を進む参加者

の松村ミナ子さん(85)は「ロープウェイに乗るのは初めてで、こんな良い景色を見させてもらえてうれしい。森は空気がさわやかで気持ち良かった」と語り、感動と感謝の気持ちを俳句や短歌にしていた。

同局では今後個人のリンクエストに応じて観光地を回る商品も検討する。同局とヘブンスそのほらを運営するジェイ・マウンテン・センทรัลの社長を務める白澤裕次さんは「若い人も高齢者も、ハンディキャップのある人も大を買っている人も、いろんな人が楽しめる高レベルのツアーをつくってきたい」と語った。

旭ヶ丘中

誰もが楽しめる観光考える

温泉でユニバーサルツーリズム学ぶ

飯田市旭ヶ丘中学校の生徒が21日、阿智☆村の昼神温泉郷を訪れ、同村で進むユニバーサルツーリズムを学んだ。SDGs(持続可能な開発目標)学習の一環で17人が参加。車いすを体験し、障害者も楽しめる南信州の観光にはどうしたらよいかを考え、旅行プランを発表した。

地域について学ぶ総合学習の時間「樫の実チャレンジ」で、3地域でユニバーサルツーリズムの推進に取り組む「南信州おでかけチーム「ウィズ」のメンバーと一緒に、障害者も楽しめる旅行にするためにどんなことができるかを考え、グループごとに旅行プランを発表。どんな障壁があるかやどんな助けが必要かなどを付箋に書き、障害者の心や体力、補助道具も考慮しながらプランを完成させていった。

海野蒼太郎さん



補助器具を使って車いすです川を渡る旭ヶ丘中の生徒

(14)は「補助用具で車いすの行ける場所が広がり画期的だった。今までなかったことが驚き」と、障害者は特別ではなく、健常者と同じなんだという意識を持ち接したいと話した。

長野県地域元気づくり支援金活用事業

井上井月句碑建立記念 ～句碑披露映像上映～

漂泊俳人 井月が行く
千両千両と春呼ぶ井月、さすらいの風にのせて
歴史とロマンの南信州を歌う



島育子

藤和也

入場料：前売 2000 円 当日 2500 円
中高生 1000 円

第二部

第一部

小沢あきこシヨ
デビュー三十周年記念曲
(下市田在住・北沢彰利作詞)

風恋し



歌謡シヨ

会場 高森町役場隣、福祉センター2階
開場午後12時・開演午後12時30分

令和6年1月21日(日)

出演 藤和也 島育子
・いにしへのステージ 祈りの笛の音 他

問合せ 090 2566 7053
主催 高森文化ユニット 後援 高森町教育委員会 高森町公民館